

だいとくん通信

—2016年—秋号



～醍醐図書館キャラクター「だいとくん」～

やっと厳しい暑さがやわらいで、過ごしやすい季節になりました。

秋と言えば、「芸術の秋」「食欲の秋」などがありますね。

今回は、「〇〇の秋」をテーマにした本を紹介します。

読書の秋

『名作うしろ読みプレミアム』



齋藤 美奈子/著 中央公論新社/発行

この本には、国内外の名作と呼ばれるミステリーや時代小説、童話などの様々なジャンルの文学作品のラスト一行はどんな文章なのかまとめられています。

夏目漱石が書いた『吾輩は猫である』のように読んだことがなくても、「吾輩は猫である。名前はまだない。」というフレーズやあらすじを知っている人は多いでしょうが、最後はどんな文で締めくくられているかは知らないのではないのでしょうか。他にも、アガサ・クリスティーの『オリエント急行の殺人』や、エリック・ナイトの『名犬ラッシー』など有名な作品約140冊の最後の一文が紹介されています。



その他おすすめ本

『マンガでわかる日本文学』

あんの 秀子/著 池田書店/発行

芸術の秋

『芸術がわからなくても 美術館がすごく楽しくなる本』



藤田 令伊^{れい}/著 秀和システム/発行

美術館の楽しみ方は展覧会を見るだけではありません。ふらっと訪れて豊かな時間と空間を楽しむだけでもいいのが新しい美術館のあり方です。

美術館のカフェでゆったりと雰囲気を楽しみながら過ごしたり、「作品」としてある美術館の建物自体を楽しんだり、多様な楽しみ方があります。

芸術に関して深い知識がなくても存分に美術館を堪能するのに参考になることが書かれています。ぜひこの本を読んでから美術館に行ってみませんか。



その他おすすめ本

『怖い絵の謎を解く 名画の読み方』

平松 洋^{ひろし}/著 新人物往来社/発行

食欲の秋

『リンゴのお酒 シードルをつくる』

ミードとフルーツビールも』

アドバンストブルーイング/著 農山漁村文化協会/発行



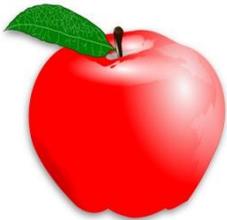
「シードル」というのは軽くて爽やかで飲みやすいリンゴのお酒のことです。リンゴジュースとイーストでできる身近なお酒で、ヨーロッパやアメリカでは昔から家庭で手作りされてきました。

他のフルーツをブレンドしたシードルの作り方や、蜂蜜のお酒「ミード」、フルーツビールの簡単な作り方が載っています。秋が旬のフルーツであるリンゴを使って、あなた好みの一杯を作ってみませんか。

その他おすすめ本

『おいしいジャムのつくりかた』

飯田 順子/著 主婦の友社/発行



『洋書のようなシンプルクッキーとケーキの本』

西岡 知子/著 主婦と生活社/発行

スポーツの秋

『人生が変わる！フルマラソン完走法』

坂本 ^{ゆうじ}雄次/著 主婦の友社/発行



初心者や運動能力に自信のない人向けに、フルマラソンを完走するための“初歩の初歩”を中心に説明されています。まず自分を知り、歩くことから始め、最終目標としてフルマラソンを完走するために書かれた本です。歩き方のフォームや道具選びのポイント、トレーニング中に気を付けるべきことも載っています。

この本を参考にして、京都マラソンに挑戦してみませんか。

その他おすすめ本

『大人の体幹トレーニング』

本橋 ^{えみ}恵美/著 永岡書店/発行



司書がすすめる本・DVD・CD

本

『大江戸妖怪かわら版』シリーズ（全6巻）

香月 こうづき 日輪 ひのわ/著 理論社/出版

主人公の少年・雀は、現代日本から次元の隙間を通して妖怪達が暮らす魔都・大江戸に偶然落ちて、そこで暮らしていくことになる。空を龍や大こうもりが飛び、隅田川には大みずち、城には巨大なガイコツが住む妖怪達の世界に人間は雀ただ一人だけ。けれど、雀を支えてくれる厳しくも優しい妖怪達と共に、かわら版屋の記者として様々な事件に関わりながら、たくましく成長していく物語です。

DVD

『ビッグアイズ』

ティム・バートン/監督 エイミー・アダムス/出演
ギャガ/出版



1960年代アメリカで一大ブームを巻き起こした「ビッグ・アイ」シリーズという絵画作品で画家のウォルター・キーン氏は瞬間に時の人となります。しかし、絵の本当の作者はウォルターの妻であるマーガレットであり、ウォルターは作者を自分だと偽って絵を売り込んでいたのです。真実を公表したいマーガレットはついにウォルターと法廷で争うことに。

アメリカで実際に起こった事件をティム・バートンが映画化。シリアスなのかと思いきや、話に少しユーモアを含ませたテンポのいいストーリー展開となっています。

CD

『ザ・ベスト・ミュージック・オブ・ ジョン・ウィリアムズ』

ジョン・ウィリアムズ/作曲 シネマ・フレイヴァー/出版



このアルバムの中からオススメしたいのは、映画「ハリー・ポッター」シリーズの劇中曲のひとつである「ヘドウィグのテーマ」です。ヘドウィグは主人公ハリーのペットの白フクロウで、手紙を運ぶこともしてくれます。曲の始まるの静かなメロディは、まるで手紙が届いたときの心が躍る様子を表しているかのようです。

ジョン・ウィリアムズは数々の名作映画の音楽を担当しており、このアルバムにはそれらの楽曲も収録されています。秋の夜長に聴いてみてはいかがでしょうか。

CD・DVDはお取り寄せできます。

1人2点まで借りられます。予約は10点までできますよ！

**この通信で紹介した資料(本、CD、DVD)が貸出中の時は予約できます。
なお、予約が多い資料については順番待ちになります。ご了承ください。**